

第 52 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	林亮輔ゼミ	チーム名	美女と珍獣
タイトル	「また、あなたと話したい」と思わせる雑談力		
テーマ群	g) その他		
メンバー	岡田圭祐,高田康平,原なつみ,福田瞬生,松本ひなた		
研究計画内容	<p>【研究背景・目的】東京工芸大学の調査によると「自分はコミュニケーション能力が高い方だと思う」という質問に対して 75%の大学生が「そう思わない」と回答し、「自身のコミュニケーション能力を鍛えたいと思う」という質問に対して 92%の大学生が「そう思う」と回答した。このことから日本の大学生は、自身のコミュニケーション能力を高くはないと感じ、その力を鍛えたいと考えている。Koiso(2016)ではコミュニケーションにおいて雑談は重要であり、人の会話の 62%は雑談であるという報告がある。つまり、大学生のコミュニケーション能力を鍛えるには、雑談力を向上させることが重要であると考え。本研究において、雑談力は会話を通して相手に好印象を与えるテクニックと定義する。</p> <p>【研究対象・方法】学生同士での会話において、最も好印象を与える雑談力のテクニックは何なのかを明らかにする。したがって、以下のステップで研究を進める。</p> <ol style="list-style-type: none">1.書籍や論文から雑談力のテクニックについて知識を収集する。2.「相槌を打つ」や「相手の目を見る」などの収集した情報をもとに、アンケート項目の検討をする。3.大学生に対してアンケート調査を実施する。アンケートのサンプル数を求めるにあたっては、許容誤差 5%,信頼度 95%と設定する。4.結果をもとに、大学生において最も好印象を与えるテクニックを明らかにする。 <p>【独創性】雑談力についての書籍や論文はアンケートに基づいていないものが多く、共通して掲載されているテクニックもあれば、一部にしか掲載されていないテクニックもある。つまり、大学生にとって全てのテクニックが好印象につながるとは限らない。そこで、「相槌を打つ」や「相手の目を見る」などの雑談力についてのアンケートをとることで、大学生にとってどのようなテクニックが好印象につながるのかを明らかにする。</p> <p>【社会的意義】大学生において有効な雑談力を明らかにすることで、今まで会話に不安を抱えていた人たちも自信を持って周りの人たちに話しかけることができるようになる。そして、より多くの人と信頼関係を築くことができる。</p> <p>【参考文献】 東京工芸大学、(「全国の大学生コミュニケーション調査」、https://www.t-kougei.ac.jp/static/file/university-student_communication.pdf、2022年10月25日) Koiso, H.,Tsuchiya, T., Watanabe, R.,Yokomori, D.,Aizawa, M., and Den, Y.“ Survey of conversational behavior: towards the design of a balanced corpus of everyday Japanese conversation” in Proceedings of the 10th edition of the Language Resources and Evaluation (LREC) (2016) :4434-4439.</p>		